

会報

全国国公立幼稚園・こども園長会



主な内容

各部・委員会報告

各ブロック活動報告

平成二十九年 度

全国大会—予告—

将来を見据えた 組織力の維持・発展を目指して

全国国公立幼稚園・こども園長会

会長 関 美津子



平成二十八年度も残りわずかとなりました。園生活のまとめの時期となり、子どもたち一人一人の育ちが、様々な姿から見られるようになってきていると思います。今までの教育実践の効果を確認したり、課題を明らかにしたりしながら、慌しくも充実した日々をお過ごしのことと思います。

全国国公立幼稚園・こども園長会の皆様には、今年度も多大なるご支援ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

【変革の時代の組織・運営】

各園におかれましては、次年度に向けて学校評価を行い、教育課程の

改善を図られていることと思います。

本部事務局として、都道府県会長会等でのご意見を参考に諸会議等の日程や内容等を見直し、来年度の事業計画に反映させているところです。

また、本会の組織・運営は、平成二十二年度に取りまとめられた、組織・運営に関する検討委員会における「質の高い幼児教育を守り抜き維持する組織として今後の国公幼を考える」の報告を受けて進めてまいりました。しかし、この間も少子化による園児数の減少は続いています。また、保護者の就労状況の変化や、「子ども・子育て支援新制度」の施行等により、多様な教育・保育施設の拡充も進められました。幼児教育を取り巻く環境は大きく変化しています。諸事情による会員数の減少や認定こども園等への移行は、今後も進むと思われま

す。これらの現状を受けて、将来を見据えた組織・運営に関する評価・改善のための検討を始めています。多様な教育・保育施設を経営する園長が自信と意欲をもって園運営が進められるように、全国組織である本会の役割や意義を考えてまいります。

【組織の一員としての役割意識】

幼児教育の充実・発展のためには、行政や関係する諸機関へ働きかける組織の存在は必要です。その際に大切なのは、現状を踏まえ将来を見据えながら、幼児教育の重要性を語り理解を得るために各園長が力量アップに努めることと、組織力の維持・発展に力を発揮することです。現状が大きく異なる各地域での組織的な働きかけを、引き続きよろしくお願いいたします。また、役割を交代する際には、仕事分担の組織表や内容だけでなく、「子どもの最善の利益の保障」のために、力を合わせて取り組む組織の意義を伝えて、引き継いでいただきたいと思っています。

【新幼稚園教育要領の告示】

新幼稚園教育要領の年度内の告示を受けて、平成二十九年度は、現行の幼稚園教育要領等での実践の成果と課題をしっかりと評価し、新幼稚園教育要領の趣旨や理念の理解を進め、新しい時代にふさわしい幼児教育へつなぐ大切な一年となります。

本会としても、文部科学省等の担当の方から直接説明をしていただく機会を設定いたしますが、各地域・園においても研修の機会をつくるなど、積極的な働きかけをお願いいたします。地域における幼児教育の中核を担う国公幼として、質の高い教育を実践し、幼児教育全体の質の向上に貢献してまいります。